

『国富論』刊行200年特集号に寄せて

1976年はアダム・スミスの『国富論』が出版されてから200周年にあたり、これを記念する行事が内外の学会、大学、研究機関において盛大に開催されました。経済学を学ぶ者にとって、経済学の建設者としてのA・スミスの『国富論』刊行200年を記念することは、経済学研究の今日的課題に照らして意義深いことでもあります。

経済資料協議会は、1976年5月28日京都大学経済学部において記念講演会を開催し、わが国スミス研究の権威名古屋大学水田洋教授と甲南大学杉原四郎教授を招き、今日の内外におけるスミス研究の動向を聞かせていただきました。

本誌は、両先生のご快諾をえて、当日の講演を中心に『『国富論』刊行200年記念号』として刊行することにしました。経済学の情報活動におけるユニークな本誌が今後とも学界に役立つ業績を残すことができますようご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1977年8月

経済資料協議会

出版委員会